ランドリーロープ施工・取扱説明書

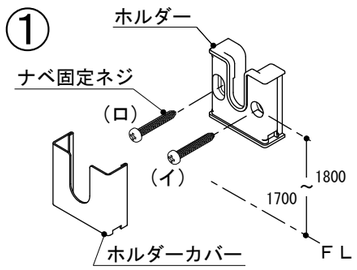
※必ず施工前にお読みください。また本説明書は取付け後も廃棄せずご使用者にお渡しください。
※工具が付属の場合は本説明書と共に必ずご使用者にお渡し下さい。

SC-499

KAWAJUN
www.kawajun.co.jp

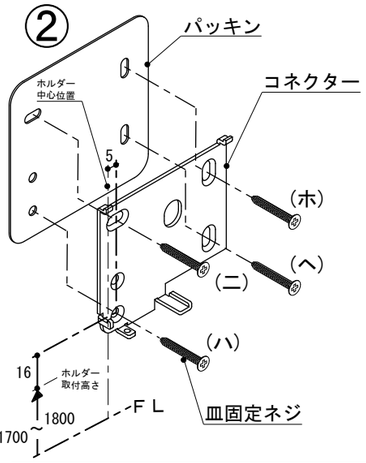
◎取付け手順

①



設置後の本体・ホルダー間のロープが水平となる位置を決め、本体と対面の壁にホルダーを取付けます。
ナベ固定ネジは図の順番にて、(イ)を固定後ホルダーの傾きを調節しながら(ロ)の順に固定します。
ホルダーを固定後、ホルダーカバーを嵌め込みます。

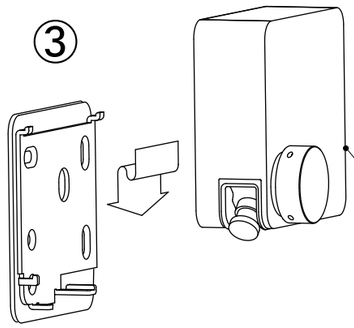
②



設置後の本体・ホルダー間のロープが水平となる位置を決め、ホルダーと対面の壁にパッキンと本体のコネクターを取付けます。皿取付けネジは図の順番にて、(ハ)を固定後にコネクターの傾きを調節しながら(ニ)(ホ)(ヘ)の順に固定します。

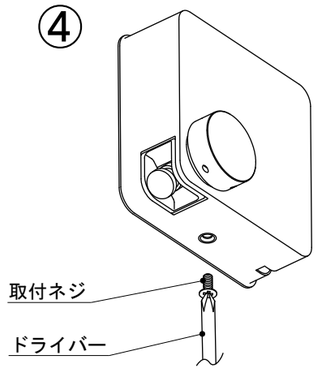
※皿取付けネジを固定の際、ネジが傾いて取り付かない様、ご注意ください。ネジ頭がコネクターからはみ出した状態では、本体が嵌らない恐れがあります。

③



壁面に固定されたコネクターのツメに上からスライドさせる様に本体側の切欠き部分を引っ掛けます。

④



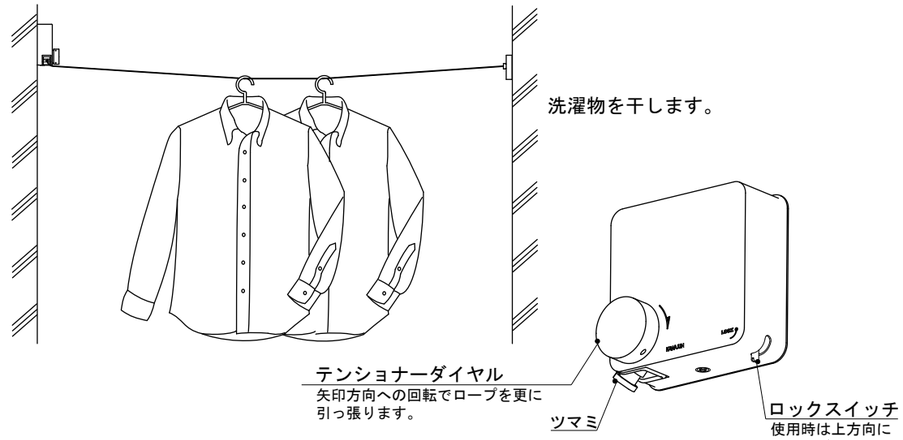
本体下側から取付けネジをドライバーにて固定し完了です。

※取付け後、必ず製品が完全に固定されているかご確認ください。固定が不完全な場合、製品のガタツキ、落下等の原因となります。

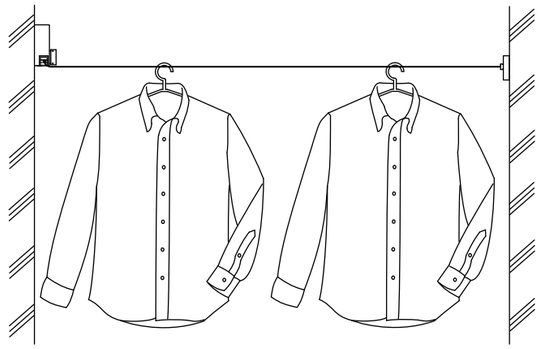
◎ご使用方法

本体からツマミを引出します。
対面に取り付いたホルダーのU字溝にツマミを掛け入れます。

本体右下の「ロックスイッチ」のレバーを上方向に跳ね上げ、ロックした後、ロープを手で引っ張り、荷重をかけて緩み確認をします。
※緩みが出た場合でも自動的に緩んだ分のロープを巻き取ります。
※製品出荷時は無荷重で巻き取られている為初回動作後の荷重時のみ、ロープの緩みが大きくなる事があります。以降の使用時からは軽減されます。
※必ずロックスイッチをご使用ください。ロックスイッチを使わずにロープに物を掛けた場合、製品が破損します。



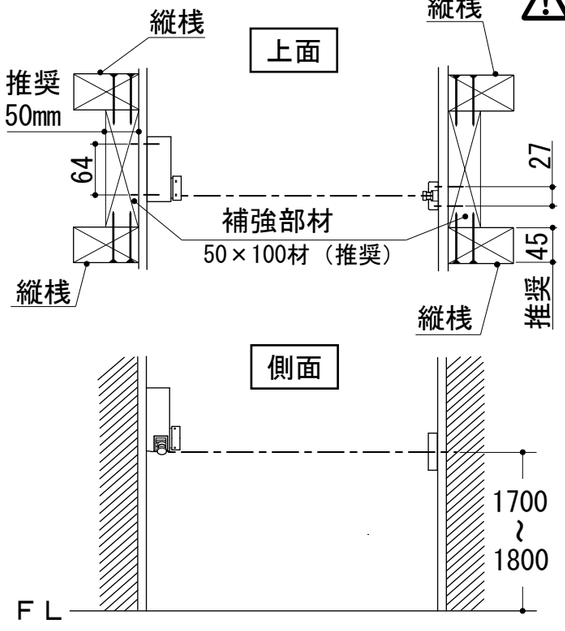
洗濯物を干します。



洗濯物の数量が多く、重さで洗濯物がロープ中央に集まってしまう事が予想される場合は、「テンショナーダイヤル」の使用により、ロープの張りの調節が可能です。
製品の正面にあるダイヤルを時計回りに回転させる事で、ロープの張りを調節出来ます。
※ダイヤル回転時は半周毎にラッチ音がします。
※およそ10回転の範囲で調節可能。

ごく軽いシャツなどを乾かす際にテンショナーダイヤルをご使用いただくと、洗濯物同士が中央に寄りにくくなります。

※洗濯物(1枚あたり)の脱水時重さ目安(弊社調べ)
(Tシャツ:250ｇ ワイシャツ:250ｇ トレーナー:900ｇ フェイスタオル:150ｇ バスタオル:400ｇ)



⚠取付けに関するご注意

- 在来工法の場合、ロープ荷重により壁面が引っ張られて破損をしない様、縦桟と縦桟の間に補強部材を固定し、本体とホルダーの取付けネジがしっかり固定出来る様にしてください。
- マンションなどで、室内壁の縦桟がC型チャンネル等の軽鉄で構成されている場合につきましても、ロープ荷重により壁面が引っ張られて破損しない様に、縦桟と縦桟の間に補強部材を設置し、本体とホルダーの取付けネジが補強部材にしっかり固定出来る様にしてください。
- コンクリート下地への施工の際は、付属のアンカープラグ用の下穴（φ6×40）を開け、アンカープラグを併用して施工してください。

※取付けネジが傾かない様ご注意ください。ネジが傾いた状態でコネクターを固定した場合、はみ出したネジ頭で本体が固定出来ない恐れがあります。
※充分に補強された壁面に固定してください。強度の弱い壁面に固定した場合、壁面ごと破損する恐れがあります。
※水滴がかかる場所への設置の際は、コネクター・ホルダー用の取付けねじ穴にコーキング等の防水処理をおこなってください。
※小さなお子様の手が届かない高さに設置してください。

⚠ご使用に関するご注意

- 本製品施工後の耐荷重は10kgfです。それ以上の荷重を加えますと破損してケガをするおそれがあります。
- 洗濯物を干す際は、必ずロックスイッチを使用してください。ロックを使用せずにロープに物を掛けた場合や、テンショナーダイヤル機能のみを使用してロープに物を掛けた場合、製品が破損します。
- 本製品は壁壁間が3.6mまでの場所用です。ロープは3.6m以上引出さないでください。破損の原因となります。
- テンショナーダイヤルご使用中でのロックスイッチの解除はしないでください。ロープに負担が掛かり、ロープ破損の原因となります。
- ロープを引出す際は、ダイヤルが完全にフリー（製品に貼られた手順シール記載の矢印と逆方向に回り切っている状態）状態を確認してから行なってください。
  ※テンショナーダイヤルが使用された状態でロープを引出しますとロープが擦れて破損する恐れがあります。
- 室内物干し用途以外のご使用はしないでください。破損してケガをするおそれがあります。
- お手入れは水又は薄めた中性洗剤を含んだ布を使ってください。ベンジンシンナー、アルコール、酸やアルカリ性の洗剤、クレンザー等はご使用にならないでください。
- 製品に水や中性洗剤を直接かけないでください。作動不良の原因となります。
- 小さなお子様がロープを引出して遊ばない様ご注意ください。体に絡まりケガをする恐れがあります。

◎収納方法

- ロープに洗濯物等の重量物が掛かっていない事を確認します。
- テンショナーダイヤルをご使用の際はフリー（製品に貼られた手順シール記載の矢印と逆方向に回り切っている状態）となるまで回します。
- 本体のロックスイッチを下方向に押し下げ、ロープを解除します。
- ホルダーからツマミを外し、ツマミを手に持ちながらロープを巻き取らせます。